

1 健康なまちづくりの推進

健康な生活は、県民の高い健康意識に支えられた主体的な活動によって、地域や日常の中で育まれます。家庭や地域、学校や職場など、様々な場において県民の健康意識を高め、健康づくりの実践を支援するため、社会環境等を含めた健康なまちづくりを推進することが重要です。

富山県では、自然豊かな環境を生かした健康づくりを推進するとともに、健康づくりボランティア等の活動や、保育所や幼稚園、学校や職場・企業、様々な機関や団体等との連携によるソーシャルキャピタル^(※)を重視した健康づくりを推進します。

(※) 人々の協調行動を活発にすることによって、社会の効率性を高めることのできる、「信頼」「規範」「ネットワーク」といった社会組織の特徴

○受動喫煙のない環境づくり

- ・病院、集会場、官公庁施設、飲食店など多数の者が利用する施設における禁煙、飲食店等の施設の態様や利用者ニーズに応じた適切な受動喫煙防止対策の推進
- ・職場における禁煙や受動喫煙防止対策の推進
- ・家庭における受動喫煙の防止の推進

★受動喫煙の機会を有する者の割合の低下 行政機関、医療機関0%
受動喫煙のない職場の実現

○質のよい栄養バランスの取れた食事がとれる環境の整備

- ・飲食店における栄養成分表示の推進（健康づくり協力店の増加）
- ・コンビニやスーパーなど民間企業と連携した栄養バランスのよい弁当等の共同開発
- ・子どもから高齢者までの各ライフステージに応じて、家庭を中心に、学校、職場、地域、関係団体・企業などが連携した「食育」の総合的な推進

★健康づくり協力店登録数の増加 370店舗（H28）

○運動しやすい環境の整備

- ・地域における公園、遊歩道、レクリエーション施設、ウォーキングコースなどの健康づくりに関する資源の積極的な利用を促進するような環境整備
- ・誰もが身近なスポーツ施設で気軽にスポーツに親しむことができるよう総合型地域スポーツクラブの支援の推進
- ・ノーマイカー運動やパークアンドライドの推進を通じた、県民の生活の中における歩くことのきっかけづくりと習慣化の促進

- ・身近な場所で健康増進に取り組むことができるよう、国際健康プラザを中心に県内の健康増進施設等のネットワーク構築の支援

★総合型地域スポーツクラブへの加入者数の増加 50,000人(H33)

○健康づくりボランティアなどによる地域の健康づくりの推進

- ・運動や栄養など健康に関する学習や地域ぐるみの活動を進める健康づくりボランティアや自主グループの活動の推進
- ・住民の創意工夫による地域の健康づくり資源や健康づくりマップなど健康情報の提供の推進

★健康づくりボランティア活動 食生活改善推進員、ヘルスポランティア
 をしている人の増加 母子保健推進員などの増加

○職場におけるこころと身体健康づくりの推進

- ・職場におけるこころの健康や生活習慣病予防、女性の健康とライフバランスなどの意識啓発の推進
- ・年次有給休暇の取得促進や所定外労働時間の削減など労働環境や労働時間の改善の促進
- ・仕事と子育て両立支援推進員による一般事業主行動計画の策定及び取組みへの支援
- ・経営トップの子育て応援宣言や行動計画等の公表による、企業における両立支援の取組みの促進
- ・仕事と生活の調和の実現に向けた意識啓発

★週労働時間60時間以上の雇用者の割合の減少 平成19年の1割以上減少(H26)
 ★育児休業取得率の増加 男性5%以上、女性95%以上(H33)

○高齢者がいきいきと元気に生活できるような社会環境整備

- ・教養、趣味、スポーツ等の生きがい対策の充実や仲間づくり等の推進
- ・老人クラブ等が実施する健康づくりや地域社会活動等への支援
- ・「65歳以上は老人」といった意識の転換を図るための普及啓発など「エイジレス社会（生涯現役社会）」づくりの推進
- ・シルバー人材センターの活動への支援や「とやまシニア専門人材バンク」の設置など、高齢者人材の活用の促進

★地域で活動する高齢者の人数の増加 とやまシニアタレントバンク
 登録者数 344人(H33)

○ 子どもの豊かなところと健やかな身体の育成のための環境整備

- ・ 富山の豊かで厳しい自然と風土に育まれたふるさとの歴史や暮らしについて学び、理解を深める機会の充実
- ・ 「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」など生活習慣や規範意識、社会に貢献する意欲・態度等の道徳性や社会性を育む教育の充実とボランティア活動等社会体験活動の推進
- ・ 幼稚園・学校と家庭や地域が連携した「元気っ子育成計画」の実施など児童生徒の運動習慣の定着と体力向上の推進
- ・ 学校における養護教諭を中心とした子どもたちの健康づくりの推進や、いじめ、不登校、こころの健康問題などへの適切な対応
- ・ 学校における栄養教諭を中心とした食に関する指導など児童生徒の望ましい食習慣の定着と健康教育の推進

★子どもの地域活動体験率の増加 小学6年生77.7%、中学3年生43.4%以上(H33)

○健康情報の提供体制の整備

- ・ 健康づくりに関する各種団体、市町村と連携した、健康情報やイベント等の情報の効果的な提供
- ・ 市町村と連携した、健康づくり対策に関する各種の取組み方策や健康指標を分析・評価した情報提供の推進
- ・ 地域保健、学校保健や産業保健と連携した、体系的な健康情報の提供の推進
- ・ 広報誌やホームページ、マスメディア、CATV（ケーブルテレビ）など多様な媒体を活用した情報提供や普及啓発の推進

○調査研究

- ・ 厚生センター・保健所は、地域保健の広域的、専門的かつ技術的拠点として、各地域の健康課題に即した調査及び研究の積極的な推進、市町村等の調査研究への支援
- ・ 地域保健、産業保健、学校保健など保健サービスの提供機関における、効果的な事業の展開のための調査・研究の促進
- ・ 研究機関・大学・国・市町村等と連携した調査・研究の推進
- ・ 各市町村における健康状態や生活習慣の状況の差の把握に努めるなど、健康格差のない県づくりの推進

2 富山の資源を活かした健康づくりの推進

本県は、癒し効果があるとされる温泉や森林、深層水等の全国に誇れる豊かな自然や、安全でおいしい食、300年以上の歴史を有する「くすり」の伝統に裏打ちされた医薬・バイオの研究開発など、健康・医療等の分野で非常に高いポテンシャルを有しています。

県民がいきいきと暮らすことができる社会の実現に向け、本県が有するこうした優れた基盤等を活かしながら、健康増進に関する研究や、医薬品産業の育成、ライフサイエンス分野の研究開発を促進します。

○豊かな自然や食を活かした健康づくり

- ・温泉浴やトレッキング、エステと健康診断等を組み合わせたメニューなど、温泉や森林などを活かした健康づくり
- ・深層水を活用した健康増進の研究や商品開発
- ・「健康」や「癒し」をテーマとした、本県ならではの観光素材を組み入れたヘルスツーリズムの促進
- ・地場産食材や伝統食文化を活かした「富山型食生活」の普及

○「くすりの富山」の伝統を活かした健康づくり

- ・配置薬システムの活用による県民の健康意識の向上や、セルフメディケーションの推進
- ・富山県薬事研究所や富山大学薬学部などによる薬用植物等の活用や、和漢薬・薬膳等の「富山のくすり」文化を活かした健康増進

○医薬・バイオなど健康関連産業の育成

- ・「ほくりく健康創造クラスター」のバイオ関連技術の研究成果を活かした、新しい診断機器や医薬品・機能性食品素材の開発、ベンチャー企業の育成などの促進
- ・大学や薬事研究所を活用した産学官連携の推進、世界の薬都スイス・バーゼルとの交流などによる、製造技術力・製剤開発力の強化と世界市場への展開を見据えた医薬品産業の振興
- ・医薬・福祉分野とものづくり分野の関係者のネットワーク構築による、医療機器等の研究開発のための医療現場のニーズとものづくり企業の技術シーズのマッチングなど、医薬工連携の取り組みへの支援
- ・深層水を活用した新商品の開発や販路開拓の支援など、深層水関連産業の振興